

世界の恵まれない子供達に学ぶ機会を！ 学ぶ喜びを！

SCOLA

Vol 11

認定 NPO 法人 LS スコラ育英基金

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-25-15

Tel & Fax : 03-3428-8307

E-mail : scola\_japan@yahoo.co.jp HP : <http://scola.web.fc2.com/index.html/>

郵便振替番号 : 00100-0-767496 特定非営利活動法人 LS スコラ育英基金

### 〈聖ラ・サールの精神を受け継ぐ〉

皆様にはお元気でおすごしでしょうか。丸 2 年間、新型コロナウイルスの影に身を潜める日々でしたが、ここにきて漸く収束の兆しが見えてきて、徐々に日常性を取り戻しつつある一方、2 月に始まったロシアのウクライナ侵攻による影響がわたしたちの日常生活に様々な影を落とし始めております。さて、4 月 30 日には令和 4 年度通常総会を開催し、全議案が社員の全員一致で承認されました。昨年度の活動・事業・会計報告並びに今年度の活動については、次頁以降をご覧ください。この 1 年間ご寄付その他有形無形のご支援をいただきました皆様方に対し、厚く御礼申し上げます。

通常総会を例年よりも一ヶ月近く早めた理由としては、先にラ・サール会総長からウクライナ緊急支援の呼びかけがなされ、軌を一にして、当基金としてもロシアの侵攻でオーストリアに避難した青少年に対する緊急支援を早急に行う必要性があったためです。5 月 10 日には 1 万ドルの送金を実施することができました。

「『戦争というものは、誰かが望んだときに始まるが、しかし、誰かが望んだときに終わるものではない』。思想家マキャベリの言葉である。世界がこれほど停戦を望んでも砲火はやまない。これまで何人が孤児になったことか。支援の手を休めるわけにはいかない。」(6 月 16 日朝日新聞「天声人語」引用)。

ジャン＝バティスト・ド・ラ・サールが生きた時代 (1651～1719 年) は、ほぼルイ 14 世の治世 (1643～1715 年) と重なりますが、ルイ 14 世はオランダ侵略戦争やスペイン継承戦争などいくつかの侵略戦争を起こしたほか、カルヴァン派に対する厳しい宗教統制やローマ教皇との対立でも知られています。聖ラ・サールは、上流階級の子女だけが家庭教師からラテン語による教育を受けるのが一般的な時代に、平民のこどもを一堂に集めて、日常用語 (フランス語) で教育を行うなど、革新的な教育法を実践したために、凄まじい迫害を受け、死の際には司祭職をはく奪されるといふ不名誉を受けたことは、ご存知の通りであります。

当基金は、今後とも「聖ラ・サールの精神」(「学びたくても学べない子供等を救おう」等) を受け継いで活動してまいります。

皆様方のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。

(理事長 宇野哲人)

## 〈令和3年度通常総会の開催〉

令和3年度の通常総会は、4月30日（土）11時から港区新橋にある航空会館の会議室でZoom会議システムを併用して行われました。主な議事内容は以下の通りです。

1. 「令和4年度の事業計画及び収支予算」については、3年続けて受取寄付金を大幅に上回る支援事業費となっているが、寄付金をできるだけ支援金に回して繰越金を減らしていくほうが寄付者の意向に沿っているのではないか、との説明が行われ、全員一致で承認されました。
2. 本年は役員改選にあたり、現役員全員が再任されました。また、新たに紺野晃則氏が理事に選任されました。

## 〈新役員のご挨拶〉

この度、理事を拝命しました函館8期（鹿児島19期）の紺野晃則です。以前からLSスコラ育英基金では社員&事務局員としてスコラの活動に携わってきましたが、これからは理事という新しい立場でスコラの運営・発展に尽力したいと考えています。

この混沌とした社会情勢の中で、「世界の恵まれない子供達に学ぶ機会を作り、学ぶ楽しさを伝えよう」と掲げたスコラ精神は尊ばれるものであり、もっと広めていくべき活動だと思います。

本来ならもう少し若いメンバーが就任すべきとのお意見もあるかと思いますが、現理事の皆様のご意向に従い頑張りたいと思います。今後ともLSスコラ育英基金の活動にご理解・ご支援のほど、よろしくお願い致します。



## 〈令和4年度の事業計画〉

### 1. 国内の支援活動

- (1) 仙台の児童養護施設出身で、平成31年4月に大学に進学した学生1名並びに令和4年4月に大学及び専門学校に進学した学生3名に奨学金として上期及び下期各々24万円を支給します。上期分については既に5月に支給済みです。なお、この4月に進学した学生3名に対して令和3年度事業計画分として各々入学一時金（30万円）を2月に支給しました。
- (2) 海外からの恵まれない留学生への支援事業並びに国際交流事業への資金支援である「ふじのくに留学生ツアー」は、コロナ禍で直近2年間は中止となりました。本年度は8月と来年2月実施することを計画し、バス代等の一部として各々10万円を支援する予定でしたが、本年8月の実施は見送られ、来年2月実施分の10万円に変更されました。

## 2. 海外の支援活動

### (1) ロシア侵攻によるウクライナ避難民に対する緊急支援

オーストリアのウィーンに避難した子どもたちを受け入れるウィーンのラ・サール校が4カ月間宿泊、食料、衣類、医薬品、その他の基本的に必要なものを提供する緊急支援要請がローマ本部からあり、5月に1万ドルを支援しました。



【1,318,800円 送金手数料等含む】

(SECOLI Project #4447)



### (2) 軍事政権によるミャンマー国内の避難民に対する緊急支援

軍事政権の弾圧による避難民に対する食糧や医薬品の人道的支援と収容施設内の子どもたちの文房具や学習用音響機器の支援に対する要請がローマ本部からあり、半額の5千ドルを6月に支援しました。残りの5千ドルについては最初の5千ドルの受け取り確認が取れた時点で速やかに行う予定です。

【660,800円 送金手数料等含む】

(SECOLI Project #4449)



## 2021 年度事業収支報告(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

### 活動計算書

(単位:千円)

科目	金額
<b>I 経常収益</b>	
受取寄付金	2,605
受取利息	0
経常収益合計	2,605
<b>II 経常費用</b>	
人件費	0
支援事業費	6,132
送金手数料	13
事業費計	6,145
人件費	0
業務代行手数料	273
通信費	45
自動引落手数料	54
その他経費	77
管理費計	449
経常費用合計	6,594
<b>III 当期正味財産増減額</b>	<b>△3,989</b>
<b>IV 前期繰越正味財産額</b>	<b>20,788</b>
<b>V 次期繰越正味財産額</b>	<b>16,799</b>

- ・ 2021 年度に皆様からいただいた寄付金の総額は 2,605 千円で、前年度に比べ 170 千円減少しました。主に特定目的の大口寄付の終了によるものです。
- ・ 寄付いただいた皆様は、149 名で前年度に比べ 8 名の減少となりました。口座引落終了期限を迎えた方はおられませんでしたが、ご逝去された 2 名の方々には、心よりお悔やみ申し上げます。
- ・ 専用の「払込取扱票」を使った寄付が 73 件（前年度 50 件）と著増、とりわけ認定 NPO 法人の更新が認められた 1 月以降に多く寄せられ、感謝いたします。
- ・ 一方、2021 年度の事業費合計額は、6,145 千円で前年度に比べ 2,176 千円の大幅増加、受取寄付金の 235 % となっております。寄付金をできるだけ効率的に支援に回して、繰越金を減らしていくことが寄付いただいている皆様のご意向に沿うものとの判断に基づくものです。
- ・ 主要な寄付先としては、仙台ラ・サール・ホーム出身者の大学生に対する奨学金並びに今春大学及び専門学校に進学した学生に対する入学一時金で 99 万円、パプアニューギニアの首都にあるラ・サールテクニカルカレッジの図書館拡張整備継続事業に 167 万円、ベトナム・カンボジア地区の貧しい少数民族グループの若者向け教育支援並びに給食支援として 323 万円となっております。



### - 事務局からのお知らせ -

- ・ 令和 3 年度の通常総会では役員改選を行いました。新任の理事が 1 名増えましたが、平均年齢は高く今後の運営に大きな不安を抱えています。ぜひ若いメンバーのご参加をお待ちしております。SCOLA では毎月定例の理事会を開いておりますので、SCOLA の運営にご興味のある方はぜひご連絡ください。
- ・ SCOLA では世田谷区にある SCOLA 事務局の移転を検討しています。都内で事務所として使用可能な場所をご存知の方は、事務局までご連絡くださいますようお願い致します。
- ・ SCOLA 第 11 号をお届けします。今回はタイトルのデザインを変えてお届けしています。掲載して欲しい記事など、ご意見がございましたら事務局（紺野）までご連絡ください。

(理事・事務局長 黒木秀敏、理事 紺野晃則)